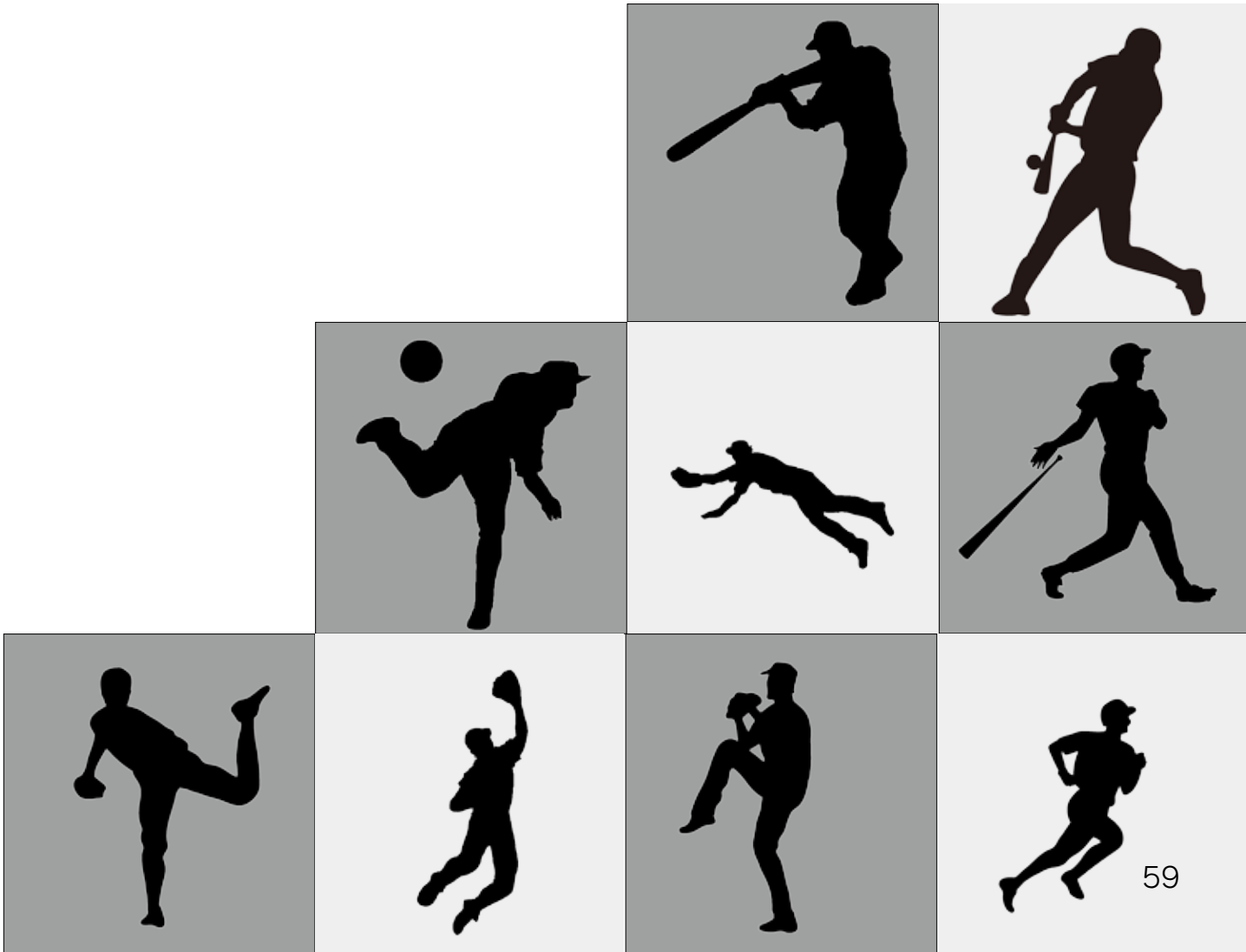
第５章
計画の推進体制



本計画の実現にあたっては、市民の健康増進、郷土愛の醸成や地域経済の活性化などに繋がるスポーツに関する施策を総合的、体系的かつ戦略的に推進することが求められます。

また、本市を取り巻くスポーツ環境の変化や多様化するニーズに応えるためには行政の取組だけでなく地域住民との協働が欠かせません。地域の中で、市民、スポーツ関連団体、事業者は、それぞれの役割を担うとともに、相互に連携を図りながら、計画の推進にあたることが必要です。

１　役割

（１）　市民の役割

スポーツ推進の担い手として、スポーツの実践に加え、地域のスポーツ活動に参画し、地元のチームを応援、さらにスポーツイベントや各種大会等スポーツボランティアとして積極的に参加していくことが期待されます。

（２）　スポーツ関連団体の役割

市や事業者と連携し、市民のスポーツに親しむ機会の充実、競技力の向上やスポーツの持つ魅力を発信していくことが求められます。

また、団体の特性によっては、スポーツボランティアなど地域の人材を活用しながら、自立的かつ継続した運営が期待されます。

（３）　事業者の役割

事業者は、地域社会の構成員であるという自覚のもと、自らが所有する施設、設備、人材や情報などを可能な範囲で、地域のスポーツ活動に提供していくことが期待されます。

また、スポーツ施設の管理・運営や、各種教室の実施に当たっては、指定管理者制度や業務委託などの方法により、効率的かつ効果的な事業の実施やノウハウを生かしたスポーツ推進事業の実施が期待されます。

（４）　市の役割

市民がスポーツを積極的に実践、応援、及び協力することを推進するため必要な施策に取り組みます。

また、市民、スポーツ関連団体、事業者及び市が連携し、スポーツを活用した総合的なまちづくりを推進します。

２　連携分野

（１）　教育

子供たちの心身の健全な育成を図り、実践だけでなくスポーツに対する多様な関係の在り方も学習し、生涯スポーツの推進へつなげます。

また、学校や部活動だけでなく、地域、スポーツ関連団体とも連携し、トップレベルの選手とのふれあいや指導を受けることで、スポーツに親しむ環境をつくります。

（２）　経済・観光

大規模スポーツイベントの誘致・実施・支援を通じて地元の経済、観光団体と連携し、市内での交流、回遊を生み出し、地域の魅力を発信します。

特に、世界の３大スポーツイベントの一つであるラグビーワールドカップ２０１９や翌年の東京２０２０オリンピック・パラリンピックは、国内外に、本市の魅力をアピールする絶好の機会であり、各種団体、事業者や市民レベルの様々な分野と連携し、シティープロモーション活動を積極的に行います。

（３）　文化

ラグビータウン熊谷や国体を契機としたスポレクフェスティバルをはじめとする本市のスポーツ文化と地域の文化活動や観光事業との連携も視野に入れ、交流の拡大を図り、スポーツ文化の裾野を広げます。

また、地域ゆかりのスポーツ選手やトップレベルのチームを本市の貴重な財産と考え、市民から行政まで様々な各階層での応援、支援を通じた熊谷ならではのスポーツ文化を育みます。

（４）　健康・福祉

ウォーキングやヨガ、健康体操など、だれもが自分のペースで実施できるスポーツの機会を提供し、心身の健康づくりを推進します。

また、市民が望むニーズに対応できるよう、施設の多様な利用形態を検討します。

上記の分野以外でも、スポーツの推進が地域社会において好影響と好循環をもたらす連携を積極的に進めます。

３　計画の見直し

本計画では、計画の進捗状況を全般的に評価し、スポーツ・社会を取り巻く環境変化や市民ニーズの把握に努め、より効果的にスポーツの推進が図れるよう必要に応じて計画の見直しを行います。